

# ダイケミクリーン工法 Second version

ダイケミクリーン工法は、アルミ・亜鉛鑄造の金型に溶着した非鉄金属を溶解洗浄するアルクリン専用の洗浄システムです。

従来からアルカリによる洗浄は知られておりますが、高温での処理は効果が高まる代わりに、多量の水蒸気の発生、放射熱による作業性の問題、苛性のミストを含んだ刺激ガスの発生による人体への影響や製品・設備に付着しての影響等、様々な問題があり温度を上げたくても上げることが出来ませんでした。

弊社では、電気の陰極陽極を交互に流すことによる洗浄工法で従来以上の洗浄効果を上げてまいりましたが、それでも極端に付着した場合には、途中で引上げてブラシ等で擦る等の作業を必要としておりました。

ダイケミクリーン工法セカンドバージョンでは、水面を弊社開発商品の**アルクリンOS**でカバーすることによって水蒸気の発生と放射熱の発生を極端に抑え、また、アルクリンTYの特性である苛性のミスト防止とを合わせることで沸点まで温度を上げることに成功いたしました。

これにより、今まで諦めていた極端に付着したアルミ・亜鉛を、手間を掛けることなく完全に洗浄することが可能となりました。

洗浄効果を最大限引き出す為には、温度だけではなく熱エネルギーによって水の分子を活性化させる必要があります。

その為、同じ100でもヒーターのスイッチがONの場合とOFFの場合では金属の反応が全く違ってきます。

当工法では、有効温度に照準を合わせた温度管理とエネルギー制御により効果的に溶着した金属を洗浄致します。



既製洗浄機  
内寸 360 300 h  
使用領域 300 150 h



このようなダメージの大きい溶損部でも手間を掛けずに綺麗に洗浄できます。

100 L ・ 200 L の大型槽も対応できます。